

法人理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にします。</li> <li>✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。</li> <li>✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。</li> </ul>			
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎週火 14:00～15:00 毎週木 13:30～14:30 毎週水 14:30～15:30 15:00～16:00 15:30～16:30	送迎：無
支援方針	テーマ「衣服」を通して言葉の発達を促す。 様々な衣服を着ることで、ボタン、紐を通す、スナップなど開閉も行い手先の巧緻性を高めていきます。また服を着て役になりきる、変身するのを楽しみ言葉での表現を促していきます。 衣服から職業がわかり、また対の関係も理解できるように支援していきます。			

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	<b>上着、ジャケットを一人で着る。服のボタン、ファスナーをとめる</b> ・着てきた上着を畳む、一人で着る練習を行う。立位でズボンをはく、またボタン、ファスナー、靴下、裏返った服、袖を返す、シャツをズボンに入れるなど身の回りを整える。
	運動・感覚	<b>様々な服を着ることで目に見えない体の部位も意識する。(背中・足裏・お尻など)</b> ・ワンピースの後ろにチャックがあることに気が付く、上靴のかかをとを引っ張る、ズボン、スカートを履く時にお尻の部分も引っ張りあげる、着せ替え人形を使いながら人形に服を着せる、脱がせることでボディイメージを促す。 <b>手先の巧緻性を高める</b> ・ハサミ・ボタンはめ・スナップ・金具の開閉
	認知・行動	<b>職種と衣服の関係性を知る</b> 絵カードを見て、職業や役割がわかる。「コックさん」「お医者さん」「おまわりさん」「消防士」など実際に着替えてごっこあそびを深めていく。 また対の関係に理解も促す。「牛乳」と「コップ」「金魚」と「金魚鉢」「コック」と「フライパン」など
	言語 コミュニケーション	<b>ごっこあそびを通して応答的な言葉のやり取りを行う</b> 服の着替え、おしやれをすることで、役になりきてあそぶ。服を着る際に「てつだって」や「かして」「ちょうだい」「やって」「すてき」「にあう」「かっこいい」などの言葉のやりとりを行っていく。
	人間関係 社会性	<b>活動の参加の仕方など自分で選択し決める</b> 課題に取り組み際に一定のルールは示しながらも、どちらをするのか2つから選び、「こっちする」「やらない」「いる」「いない」を言葉だけでなくカードでも伝えていけるようにします。
歌・絵本など	わらべうた「ひとつひとつばち」 歌「おきがえのうた」「のせてのせて」「だれでしょう」	
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	特になし	
移行支援	通園している保育園との連携、情報共有を行う	
家族支援	カラフル親の会 勉強会の紹介 2月20日「小学校から就労まで 進路について」	
職員の質の向上	身体拘束の適正化のための対策を検討する委員会による研修	
主な行事等		